

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。  
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要と思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう奈良津1組

公表日

2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・一つの部屋に密になりすぎないように集団ごとに適切なスペースを設けています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・人員配置基準を満たしています。 ・支援中はどの部屋にも職員を配置し死角がないようにしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・運動室・静養室と分けて活動を行っています。 ・事業所内は、段差の少ない設計になっています。	勉強をする場所に必要のない刺激になりうるものがあるため、障害特性に応じた環境整備をさらに充実させていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・支援終了後、全職員で清掃・消毒を行い、備品のチェック、部屋の点検を行うことで安全かつ心地よく過ごすことが出来るようにしています。	活動内容に応じた空間づくりについて今後も工夫していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・パーテーションがあり、学習だけでなく、クールダウンの場としています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・ミーティングにて本日の支援などの評価を行い、反省点の改善方法について意見を出し合っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者様の評価を職員全員で把握し、改善点など話し合い業務改善を行っています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・ミーティングや会議などで全職員の意見を把握し、業務改善につながるように意見や悩みに対して改善案を話し合っています。 ・個別面談なども行っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・行っていないが、第三者・訪問者などにいただいたご指摘やアドバイスされた際には改善を務めています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・法人内の研修があり、専門知識や感染症対策など様々な研修を行っています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・モニタリングを行い、お子様や保護者様のニーズや課題から次の目標をともに決定し計画書を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・ケアカンファレンスで個々の子どもの支援方針を話し合い、その児童にとって必要な支援の内容を検討しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・全職員が計画書の内容を理解し、計画に沿ったレクリエーションや個別対応の内容を考え実行しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・毎日、特記や専門的支援活動の記録を記入し、全職員がいつでも確認できるようにしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・多数の項目に分けて細かく支援内容を設定し、子どもや保護者のニーズや時期等も踏まえて必要な項目を設定、計画されている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・全職員で立案できるように担当を決め計画を行うことで、全職員が活動プログラムの内容及びねらいについて立案しています。	引き続き職員全員で様々なプログラムを立案していきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・1人の職員が案を出すのではなく、全職員が1つ以上立案するように工夫をしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別支援計画のほかに専門的支援実施計画書を作成しており、集団活動だけでなく専門的支援など個別活動を行い、作業療法士や保育士など専門職の支援も行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎日の役割分担表を作成およびミーティングを行い、レクリエーションや支援の内容、職員の配置について確認を行い、チームで連携して支援を行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・夕礼でミーティングを行い、レクリエーションの振り返りや児童の様子、反省点を共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・ミーティング記録や特記事項記録、専門的支援記録、モニタリング時の記録など重要な内容を記録し、全職員で共有、改善に向けての話し合いを行っています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・定期的にモニタリングを行い、前回のフィードバックから今日までの状況や変化について具体的にお伝えし、今後の支援について話し合い、見直しを行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・日々のレクリエーションや外出体験を通して、創作活動や地域交流の機会、自立支援が行われるように計画及び実施しており、余暇の時間も組み込み支援を行っています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・レクリエーション、余暇時間などで自己選択する機会を設け、言語での意思表示が難しい児童に対しても絵カードなど視覚支援を通して自己決定をする機会を設けています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・管理者および児童発達管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・医療機関、相談支援事業所、学校とこまめに連絡を取り、関係機関と連携をし、会議など行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・送迎時など情報を共有したり、下校時間などの変更なども密に連携をとっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・必要に応じて、情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・利用者一人一人について支援計画・支援経過・得意なことや配慮事項など、移行支援会議などを行い情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	・訪問や連絡を取り、連携を図っています。	今後は、連携のみでなく助言や研修などを受ける機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・地域のイベントに参加し、地域の他の子どもとの交流を図っている。	地域のイベントだけでなく、放課後児童クラブとの交流も今後行っていきたいと考えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	・協議会などへも参加を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・連絡帳に日々の活動の様子などを記入し、具体的なことなどは送迎時に伝え、こまめに状況や課題について話し合いを行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・保護者会を開催し、児童が行っている支援内容を実際に体験をしたり、アンガーマネジメントなどのSSTを行い、情報提供を行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に重要事項説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・子どもや家族の意向を確認し、意向を尊重した計画書が作成されている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・計画内容を説明し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・悩み等をいつでも受け入れる体制を整えており、早急に適切な支援を行うことができます。	保護者様と密に連携をとり、子育ての悩みなどいつでも相談できるよう体制を整えていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者会を開催し、保護者同士の交流やお子様が行っている活動に取り組んでもらうなどして支援内容を理解していただく機会を設けています。	今後は、きょうだいの方が交流できる機会も設けていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・真摯に受け止め、法人内のマニュアルに沿って迅速に対応を行っています。	
	42	定期的な通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・お便りやブログ、HPやインスタグラム等のSNSを活用し活動概要などの情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報は、鍵付きのロッカーへ保管して管理を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・絵カードなどの視覚支援を通して意思疎通や自己決定の機会を設けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・法人内では、ゆうゆう祭りや夢祭りなどありますが、当事業所での行事は行っていません。	今後は、見学会や行事イベントなど計画を行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各種マニュアルが作成されており、年に2回の避難訓練だけでなく「防災活動週間」を実施し、その様子を連絡帳や送迎時にお伝えしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・BCPを策定し、全職員が訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・事前にてんかん発作等のお子様の状況を把握し、服薬の際は保護者様に与薬表の提出をしていただくように徹底しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・一人ひとりの児童の食物アレルギーについて全職員が把握し、おやつやクッキング時に含まれている材料について確認・対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画を作成し、訓練を行い事故防止に取り組んでいます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・安全計画に基づき、保護者への情報提供を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハット事例を共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・法人内で虐待防止の研修が行われ、マニュアルを意識した対応が行われています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・契約時に十分な説明を行い、必要な児童については計画書にも記載しています。	
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>保護者会やお楽しみ会など、今後は保護者様だけでなく、きょうだいの方や地域の方もご参加いただけるイベントを開催し、開かれた事業所づくりを目指してまいります。また、職員全員でお子様だけでなく保護者様も楽しみにしていただける支援内容を計画・実践してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>						